

# 不整脈がでてきたら

不整脈とは脈が乱れることを意味しますが、実際は普通の脈拍より早くなる頻脈（脈拍は一分間に150～200回）または遅くなる徐脈（脈拍は一分間に50～60回以下）と、リズムが狂う期外収縮（正常な同調律のなかに一拍ずつ異常な脈が入り込む）に主に分かれます。

お子さんは脈が乱れているという表現よりも、胸が痛い、ドキドキする、おなかが痛い、気分が悪いというような表現をすることがあります。今までに起こった不整脈があれば起こり易い症状、表現方法を予め知っておくようにしましょう。

## 発見

### 症状

- ★ 喘苦しき  
呼吸数が多くなる
- ★ ドキドキが続く  
胸が痛くなる  
不快感・嘔吐  
ハツ、ハツ
- ★ 頭がぼーっとする  
目の前が暗くなる
- ★ 瞬間的に脈が飛ぶ  
ドキッとすると  
脈が抜ける  
ドキッ

## 安静にさせながら脈を測る



手首の動脈の部分に  
軽く指を置いて脈を測る

### 言葉では・・・



## 薬の確認



「脈の薬は飲んでいるか」  
「決められた時間に飲んだか」

## 飲んでいない時

安静にさせて本人や脈の様子を見てください

## 飲んでいない時

薬を持っている時には  
お薬を飲ませ、安静に  
させて本人や脈の様子  
を見てください

改善しない場合は  
ご家族との連絡方法に従って連絡し  
本人や脈の様子を見てください

